



次代につなぐ新たな丸森づくりマップ

国道349号別線整備

- 平地部は盛土、橋梁等により高台へ整備することで大雨時の道路冠水を回避
- 山地部はトンネルで整備されるため、土砂災害に強い道路となる。
- 全線2車線整備となり従来からの課題であった幅員狭小箇所が解消される予定
- 事業完了予定…決まり次第公表する
- 事業主体…国土交通省

子安地区治山工事

- 土砂崩れにより、3名の死者、1名の行方不明者が発生した地区
- 令和3年度に治山ダムが完成し、将来は造林が進められ森が復活する予定
- このほか町内では各所で治山工事が進められている。
- 事業完了年度…令和3年度
- 事業主体…宮城県

内水対策事業

- 雨水ポンプの増設、阿武隈川への直接放流管の整備等により、浸水被害を防止する。
- 整備完了後は被災前の2.5倍の排水能力となり、令和元年東日本台風と同規模の降雨でも対応可能となる。
- 事業完了予定…令和6年度
- 事業主体…丸森町

町営神明北住宅(災害公営住宅)・町営神明住宅

- 被災前に居住していた家屋に居住できなくなった方を対象とする災害公営住宅の建設
- 被災した町営住宅の建て替え工事
- 町営神明北住宅(災害公営住宅)
 - 建設戸数: 50戸 (鉄筋36戸 木造14戸)
- 町営神明住宅
 - 建設戸数: 90戸 (鉄筋36戸 木造54戸)
 - 事業完了予定…令和5年度
 - 事業主体…丸森町

県道丸森梁川線復旧工事

- 道路拡幅による2車線化や、法尻のブロック積護岸での改良等により災害に強い道路となる。
- 事業完了予定…令和4年度
- 事業主体…宮城県

県道丸森霊山線復旧工事

- 令和4年9月末に全面開通。年内にはすべての復旧工事が完了する予定
- 事業完了予定…令和4年度
- 事業主体…宮城県

河川復旧工事(国直轄)

- 阿武隈川水系内川流域の内川、新川、五福谷川において実施
- 流下能力を向上させるための河道掘削や、計画規模(30年に1回程度の確率で発生する規模の洪水)を超える洪水に対する堤防機能の強化を図る等の改良工事
- 事業完了予定…令和6年度
- 事業主体…国土交通省

砂防事業(国直轄)

- 出水時に下流へ流出する土砂を抑制し、土砂・洪水氾濫被害を軽減するための砂防堰堤と遊砂地の整備
- 砂防堰堤で流れてきた土砂を受け止め、少しずつ流すことで、下流へ流れる土砂の量を調節し、遊砂地にたまった土砂で勾配を緩やかにし、川床・川岸の浸食や崩壊を抑え、土石流の勢いも弱める。
- 事業完了予定…令和6年度
- 事業主体…国土交通省

雉子尾川復旧工事

- 令和3年度で全ての災害復旧事業が完了
- 河道のさらなる流下能力向上のため、石神橋から三代河原橋にかけて、築堤や河道掘削等の河川改修工事を実施している。
- 事業完了予定…令和9年度
- 事業主体…宮城県

丸森町中心部MAP

町営竹谷住宅

- 建て替え工事が進められていた町営竹谷住宅は、令和4年7月に完成
- 建設戸数: 20戸 (木造20戸)
- 事業完了年度…令和4年度
- 事業主体…丸森町

「儲ける農業」創造プロジェクト

- 竹谷地区を始めとした丸森地区中央部の農地は、宮城県により令和3年度に全ての災害復旧工事が完了
- 今後は集落営農の組織化・法人化や、基盤整備事業の推進、園芸作物のモデル事業の導入に向けた検討等を進め、農地・農村を次の世代へ良好な状態で引き継ぐことができる持続可能な地域農業と「儲ける農業」の実現を目指す。
- 事業完了予定…集落営農の組織化・法人化: 令和4~5年度 基盤整備事業: 令和9年度以降
- 事業主体…丸森町

丸森地区河川防災ステーション

- 大規模災害の際、防災活動の拠点となる河川防災ステーションを整備
- 平常時、町民や来町者に愛される施設になるよう利用方法を検討中
- 事業完了予定…令和6年度
- 事業主体…国土交通省、丸森町

丸森地区河川防災ステーション施設利用イメージ

災害時

- 水防活動や災害発生時の復旧活動に迅速に対応できる活動拠点として利用します。
- 備前資材: 災害時は重機が入って資材を運搬
- 建設機械活動スペース: 水防活動時に使用される建設機械の配置・活動場所
- 避難車両 駐車スペース: 普通車100台分
- 水防センター: 水防活動の司令室、水防資材の倉庫、支援物資の拠点、炊き出し、避難者の一時避難場所
- 水防作業スペース: 水防用具が土のうづくりなどを行う場所
- ヘルポート: 人・物資の緊急輸送に対応するヘリコプター発着場

平常時

- 資材備蓄は南側エリアに集約し、北側エリアは多目的に活用することができます。
- 芝生広場: 水防センター・観光交流センター 防災学習の場、飲食・物販スペースおよび阿武隈ライン沿下りの拠点としての整備を検討
- 公園・緑地、イベント会場、スポーツ広場としての利用
- 屋久橋の再現: 水防センターの北西
- 川の駅: 河川敷公園としての利用
- 阿武隈ライン沿下り船着場: 周辺状況の整備を検討
- 阿武隈川の眺望を楽しめるスペース
- イベント広場: マルシェや軽トラ市等を行えるイベント広場
- ポケットパーク: 既存樹木を保全 休憩施設の設置を検討
- 水辺への動線(階段・スロープ): チケット売り場のある水防センターから船着場まで、階段・バリアフリー対応のスロープを整備